

# 共助を支える(災害時個別支援計画の作成促進)

## 1 市内の状況

※ 福岡県が実施した「令和6年度災害に備えた在宅人工呼吸器使用患者実態調査」より  
(回答者：北九州市在住者 49人)

- 個別避難計画の作成について、「未作成」が約6割(「作成済み」は1割)
- 「不明」が約3割であり、「未作成」「不明」を合わせると約9割が作成していない可能性がある
- 回答者の約6割が、「個別避難計画の作成支援」を望んでいる

## 2 意見交換会や災害時個別支援計画の作成を進める中での意見

- 避難の計画が無い状態だと、実際の災害時に何をすべきか分からず混乱すると思うので、事前の備えは大切
- 事前に災害時個別支援計画を作り、関係者の連絡先や避難の考え方・対応等を共有しておくことで、当事者や支援者の安心感につながる
- 災害時個別支援計画を作成する作業を通して、当事者や支援者が、災害や災害時の対応について考えるきっかけになる
- 災害時個別支援計画を作成した後は、更新していくことが大切であり、避難訓練等でより実態に即した内容になるとよい

## 共助を支える(災害時個別支援計画の作成促進)

### 3 避難訓練への参加・同行

- 避難計画に基づいた訓練を重ねていくことで、より実態に即した計画内容に更新することができ、迅速な避難行動にもつながることを認識



これらの状況・意見を踏まえ・・・

### 4 災害時個別支援計画作成の考え方・方向性

- 災害時個別支援計画の作成は、災害時対応への安心感や円滑な支援のために必要であり、共助の強化につながることが見込まれる
- 県調査の結果では、個別避難計画を作成していない人(可能性がある人を含む)が約9割であり、災害に備え支援計画作成を迅速に進める必要がある
- 災害への備えの取組である「非常用電源購入費用の助成」と支援計画作成の推進を一体的に実施することで、自助、共助の両面から強化を図り、安心できる避難生活を支える体制の構築をより加速できる

【令和8年度 災害時個別支援計画作成促進の取組】

日頃から当事者に関わる支援者へ災害時個別支援計画の作成を委託して進める(予定)

# 公助について（対応指針の作成）

## 【対応指針作成の趣旨】

発災時に当事者、支援者、関係者が落ち着いて円滑に協働しながら避難生活を送る（支える）ことができるよう、関係機関等との連携や各々の役割を明確にして迅速なサポートにつなげるため、令和8年度から対応指針の作成を進めていく

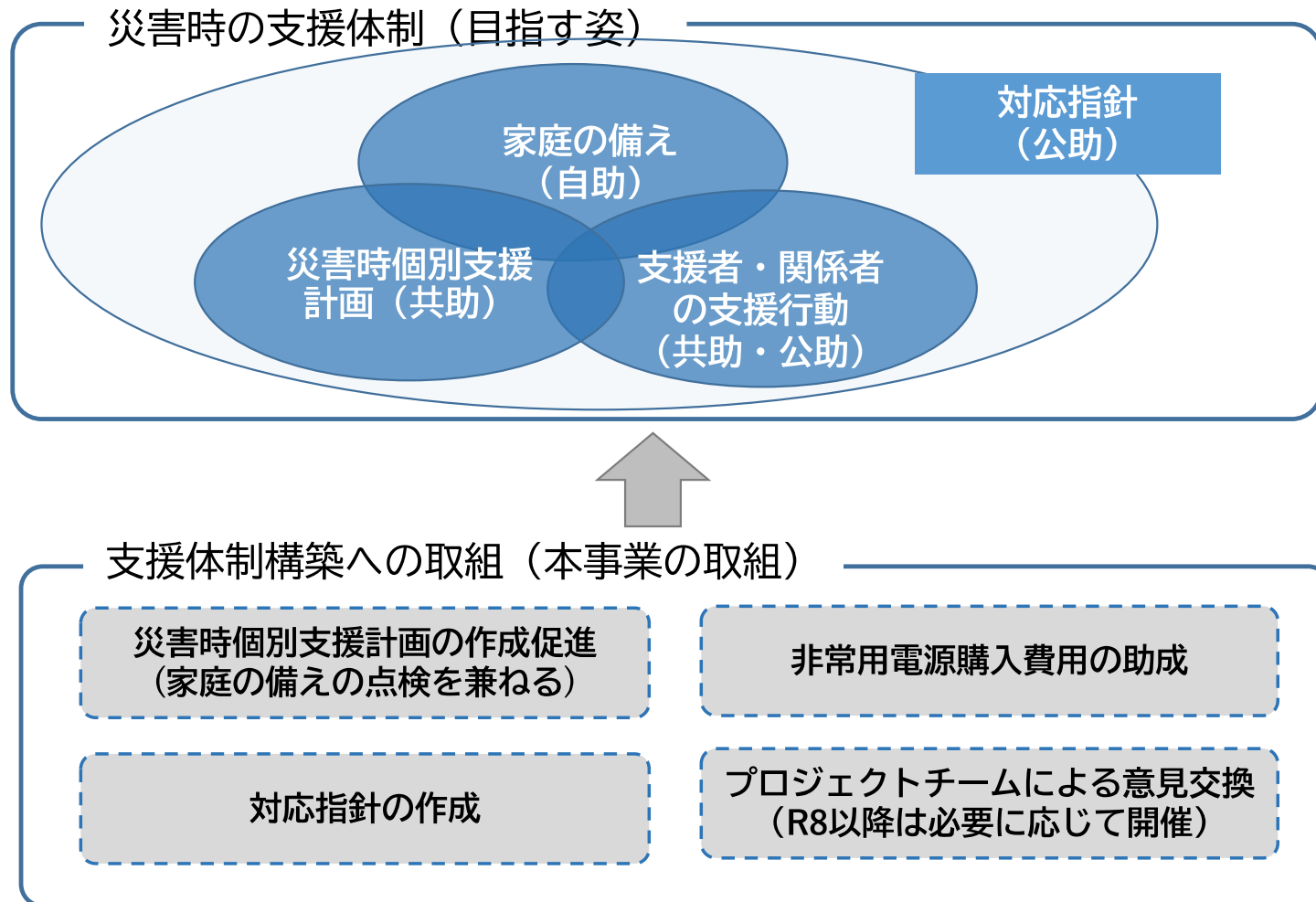
## 【対応指針に盛り込む内容（検討案）】

- 平時からの備えに関すること
- 災害予想時の対応に関すること
- 災害発生時の対応に関すること
- その他



# 本事業のイメージ

自助、共助、公助の強化を図り、災害時の重層的な支援体制の構築を目指す



# R8年度 在宅人工呼吸器使用患者・災害時支援の取組

安らくまち

拡充

## 在宅人工呼吸器使用患者・災害時総合支援事業

【5百万円】

在宅の人工呼吸器使用患者が、大規模災害時に安心して避難生活を送ることができるよう、非常用電源の購入費助成や家庭での備えの点検(自助)、災害時個別支援計画の作成(共助)、対応指針の作成(公助)を実施・推進することにより、「自助」「共助」「公助」の3つの視点から重層的な支援体制の構築に取り組む。

### <令和8年度 実施内容(予定)>

自助、共助の取組を強化

① 家庭での備えの点検と  
災害時個別支援計画作成の促進



② 非常用電源購入費用の助成の開始(拡充)



➔ 家庭における備えの充実と発災時の円滑な支援を推進

自助

非常用電源  
確保の支援、  
家庭での  
備えの点検

共助

災害時  
個別支援  
計画の作成

公助

対応指針  
の作成

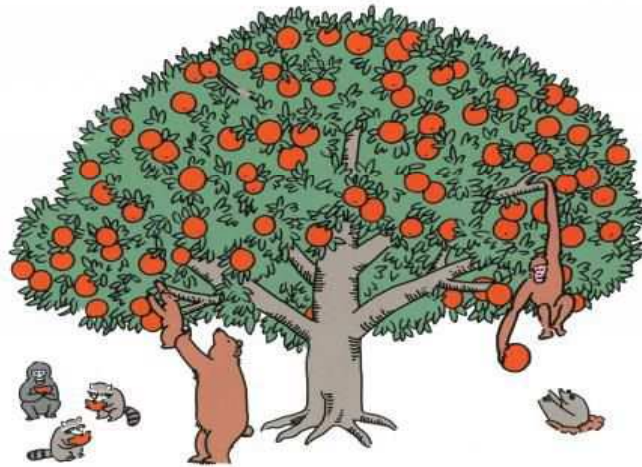
安心して避難生活を送ることができる体制づくりを目指す



## <参考> 共助の取組のご紹介



# 共助の取組紹介(認定NPO法人にこり)



## 認定NPO法人にこり

- 障がいの有無にかかわらず、子どもとその家族が地域社会において笑顔あふれる生活を送るために、必要な支援を行うことを目的に活動
- 医療と福祉の枠組みにとらわれず、お母さんに寄り添い、子どもたちと家族の小さな願いを叶えるための支援を続けている

【出典・参照元（図・文章）】  
認定NPO法人にこりパンフレット

# 共助の取組紹介(認定NPO法人にこり)

第4回  
**にこりのお祭り**  
2025. **10.12** (日)  
10:00~15:00  
黒崎商店街  
黒崎カヌス商店街 アーゲード内  
みんなでつくる  
インクルーシブな  
おまつり  
病気や障がいがあっても、  
いっぱい笑って遊べる毎日。  
遊びのブース ワークショップ キッチンカー 雑貨販売 ステージイベント 災害対策  
にこりのお祭り funfund【寄付のお願い】  
みんなで一緒にいっぱい笑っていっぱい遊ぼう  
バギーでも遊べる会場づくりや休憩スペースの準備など、  
みんなが楽しめるお祭りの実現に、ご支援をお願いします。  
最新情報やおまつりの様子は  
Instagramで発信中!  
@NICORINOOMATSURI  
にこりのお祭り公式インスタ  
フォローしてチェックしてね!  
主催 にこりのお祭り実行委員会  
共催 北九州市／公益社団法人北九州市障害者相談支援事業協会／北九州市社会福祉協議会  
後援 北九州市教育委員会  
【お問い合わせ】 TEL. 093-282-5810

## にこりのお祭り

- 医療が必要な子どもたちや障がいのある子どもたち、そのご家族も安心して楽しめる「災害対策・地域交流・遊び体験」のお祭り
- 医療福祉だけでなく、地域のみんなとともに作り上げ、地域とともに学び育ち合う場
- キッチンカーのみなさんに、出店だけでなく、災害時の電源の協力アンケートを実施

【にこりのお祭りの様子】

<https://nicori.org/archives/1856>

【出典・参照元 (チラシ・文章)】

認定NPO法人にこりホームページ